

## デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

経営変革の  
推進ホートフォリオ  
経営の高度化筋肉質な  
経営基盤の形成2030年への  
備え

ムラタは、デジタルトランスフォーメーション (DX) を「ムラタ内外の人・組織 (業務) を、デジタルで縦横無尽につなぎ、プロセスを短く、早く、かつ見える化することで、飛躍的な競争力と顧客価値の向上をドライブするもの」と定義しています。

ムラタの価値創造プロセスのデジタル化は、ムラタの強みである「現場変革」を、データと情報、業務と人をつなぐことで、個別最適から全体性・進歩性を持つ「自律分散型変革」に昇華し、社は、Innovator in Electronicsの実現、変革を起こし続ける企業風土の醸成にもつながると考えています。

### DX推進のために重点的に取り組んでいく領域

- 事業軸では最適化が進んだ一方でサイロ化したバリューチェーン、業務、プロセス、システムの再構築
- DXの人材獲得・育成 (制度・採用・育成)
- データマネジメント、データ連携・利活用の促進

### 基盤事業の深化とビジネスモデルの進化



### デジタルを活用したモノづくり領域の変革

生産年齢人口の減少にともなう人材確保の課題や生産性の向上、ロジスティクスの複雑化、お客様のニーズの高度化や品質向上、新製品創出といった課題に対応するため、デジタルを活用したスマートファクトリー化の取り組みを進めています。取り組みの領域を明確化し、AIやロボットを利用した自動化技術やIoTなどのデータ活用と連携技術により、次世代のモノづくりシステムへ変革させていきます。

#### モノづくり領域でのデジタル活用

- ① 多様な人材への対応  
ロボット・AGV活用、加工指示システム
- ② 製造品質の向上  
加工条件自動制御、異常予兆検知、画像認識AI
- ③ 設備効率の向上  
稼働状況監視、予知保全
- ④ 設計品質の向上  
過去情報活用DB、開発-製造情報相互接続DB
- ⑤ 生産複雑化への対応  
生産計画、配台指示システム
- ⑥ 仮想一拠点化への対応  
工場間、仕入先様、委託先様情報の一元化、遠隔支援
- ⑦ 省エネルギー化の促進  
エネルギーマネジメントシステム